

2016 年度提出済声明②沖縄・米軍属女性暴行殺人遺体遺棄事件への抗議声明
(平和委員会提案)2016 年 6 月 24 日

内閣総理大臣 安倍晋三様
アメリカ合衆国大統領 バラク・オバマ様

国際婦人年連絡会 世話人 實生 律子
紙谷 雅子
大倉多美子

沖縄・米軍属女性暴行殺害遺体遺棄事件への抗議声明

国際婦人年連絡会は、全国組織を持つ 36 の女性団体が加盟し、「平等・開発・平和」な社会の実現を目指し活動している NGO 団体です。

2016 年 5 月 沖縄で元米海兵隊員・米軍属による女性暴行殺害遺体遺棄事件が起きました。

人の生命をないがしろにするこのような蛮行が繰り返されることは決して許されるものではなく、心からの憤りをもって抗議いたします。

1995 年の米兵による少女暴行事件に抗議する沖縄県民大会では、「基地の整理・縮小」が掲げられ、地位協定の問題が本格的に浮上しました。

それから 21 年。その間にも米軍関係者による事件は絶えず、そのつど日本政府は「綱紀粛正」・「再発防止」をアメリカ政府に求めてきました。しかし何の進展もないまま、今もなお沖縄では、安心して日常生活を送れる状況とは程遠く、悲しみや悔しさ、憤りが渦巻いています。

軍事基地があるがゆえにおこる軍関係者による女性への性暴力は、重大な基地被害であり人権侵害です。日本復帰から 44 年たった今も、その重荷は沖縄県民に押し付けられています。

私たちは、すべての日本国民が等しく平和のうちに日々の生活を送ることができるよう、米軍人・軍属にさまざまな特権を与える日米地位協定の抜本的な改定と沖縄の民意である辺野古への米軍基地移設を取りやめること、そして米軍普天間飛行場の県外・国外移設を、日米両政府に強く求めます。